

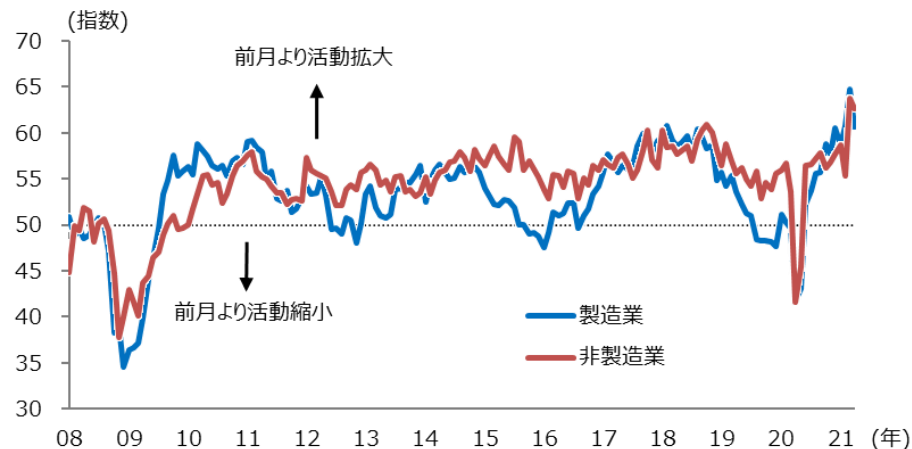
## 米国

## ISM景況指数（2021年4月）

## 外出関連企業や中小企業でも回復が期待も、供給問題は残る

政策・経済センター  
田中嵩大  
03-6858-2717

## 1 ISM景況指数（総合）

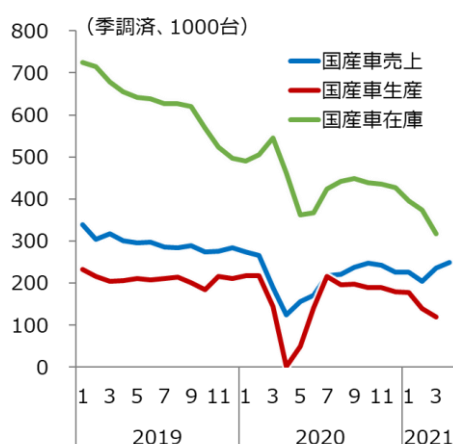


## 2 中小企業楽観指数



注：雇用・インフレ率・設備投資等の10項目をもとに、中小企業の景況感を1986年の水準を100として指数化したもの。  
出所：全米独立企業連盟（NFIB）

## 3 自動車の売上・生産・在庫台数



出所：米国商務省経済分析局より三菱総合研究所作成

## 評価ポイント

## 今回の結果

- 21年4月のISM製造業景況指数（5/3公表）は60.7と、前月から下落したものの、11カ月連続で活動拡大の境である50を上回った。
- 製造業指数を構成する項目別にみると、新規受注（64.3）、生産（62.5）、雇用（55.1）、入荷遅延（75.0）、在庫（46.5）の5項目全てで下落した。サブ項目である仕入れ価格（89.6）は上昇した。業種別では、18業種全てが活動拡大を報告した。
- 21年4月のISM非製造業景況指数（5/5公表）は62.7と、同じく前月から下落したが、11カ月連続で50を上回った。
- 非製造業指数を構成する項目別にみると、雇用（58.8）、入荷水準（66.1）が前月から上昇した一方、ビジネス活動（62.7）と新規受注（63.2）は前月から下落した。業種別では、農林水産業を除く17業種が活動拡大を報告した。

## 基調判断と今後の流れ

- ISM景況指数は製造業・非製造業ともに低下したものの、高い水準を維持しており、米国企業は良好な景況感を維持している。米国雇用者の約半分を占める中小企業の景況感も、今年に入ってから回復傾向にある（図表2）。
- 先行きも、ワクチン接種進展による経済活動水準の回復が進むと期待されることから、米国企業は良好な景況感を維持すると見込む。調査企業担当者のコメントでは、総じて楽観的な声が多く、活動抑制の影響が大きかった宿泊・飲食業においても、ペントアップ需要による売上増加が見られている。
- 他方で、人手や原材料不足や供給網の乱れなど、供給問題を懸念する声も多く聞かれた。例えば半導体不足が深刻化している自動車産業では、売上台数が増加しているが、生産・在庫台数は減少傾向にある（図表3）。引き続き、需要の増加に供給が追い付かなくなるリスクは残ることに注意を要する。